

令和5年度の市政運営について



新型コロナウイルス感染症は、国内で初めて感染者が確認されてから3年が経ち、今春、国も感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同等に引き下げるところです。

本市でも、令和4年度は、これまで感染拡大により中止してきたイベントなども、感染防止対策を十分に講じ、工夫を凝らした「新たなスタイル」で実施してまいりました。3年ぶりのイベントはたくさんの方でにぎわい、コロナと共に生きる新たな時代への期待の高さを感じております。

暮らしたい、暮らし続けたい

「力強い清須」を実現するため
未来への投資を進める

本市を取り巻く状況を見ますと、全国的に少子高齢化が進展し、人口減少が進行している中、他市町村に比べると引き続き高い出生率を維持しておりますが、令和4年は残念ながら市制施行後、初めて出生者数が死亡者数を下回り自然減となりました。この現状に強い危機感を持って人口減少に歯止めをかけるべく、少子化対策の一層の推進に取り組んでいく必要があります。

本市の財政状況は、景気が緩やかな回復傾向であることもあり、歳入の基幹となる市税収入につきましては、コロナ禍前の水準以上まで回復が見込まれます。しかしながら、高齢化の進展等による社会保障関係費の自然増が見込まれることに加え、大規模な施策事業の推進、公共施設の計画的な維持管理、原油高による光熱費の高騰など様々な財政需要に対応していく必要があります。

今後とも厳しい財政運営が予想されます。

限られた財源を真に必要な分野に重点的かつ効率的に配分することを基本に、市民の皆様の暮らしの安心を確保するとともに、コロナ禍収束の先にある未来への投資を着実に進めることで、多くの人が、本市の将来に希望を感じ、「暮らしたい」「暮らし続けたい」と思えるよう力強い清須の実現を目指してまいります。

本市がこれからも成長を続け、魅力と活力に溢れた、誇れるまちとなるためには、これまでのまちづくりの歩みを止めることなく、第2次総合計画で掲げる政策・施策の推進にスピード感を持って取り組むことが重要であると考えております。皆様には、引き続き市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。